

# Curriculum Vitae

浜村 俊傑

2021 年 6 月 12 日

## 1 現所属

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

**E-mail:** thamamura@ncnp.go.jp

株式会社 KDDI 総合研究所 健康行動変容グループ

**E-mail:** to-hamamura@kddi-research.jp

## 2 職歴

2010 年 09 月～2012 年 06 月 発達障害団体 (Developmental Disabilities Association)

2017 年 04 月～2019 年 03 月 日本学術振興会 特別研究員 (DC2) (受入機関／東京大学)

2019 年 04 月～2020 年 03 月 株式会社 KDDI 総合研究所 研究員

2020 年 04 月～現在 日本学術振興会 特別研究員 (PD) (受入機関／国立精神・神経医療研究センター)

2019 年 04 月～現在 株式会社 KDDI 総合研究所 招聘研究員

## 3 学歴

2003 年 09 月～2006 年 06 月 デイビッド・トンプソン 高等学校

2006 年 09 月～2010 年 05 月 トリニティ・ウェスタン大学 人文社会科学部 心理学専修

2012 年 04 月～2015 年 08 月 カリフォルニア州立大学フラートン校 大学院人文社会科学部研究科 心理学専攻 臨床心理学コース 修士課程

2016 年 04 月～2019 年 03 月 東京大学 大学院教育学研究科 総合教育科学専攻 心身発達科学専修 臨床心理学コース 博士課程

## 4 資格

2019 年 04 月 01 日 臨床心理士, 日本臨床心理士資格認定協会 (登録番号 36772)

2019 年 10 月 25 日 公認心理師, 厚生労働省・文部科学省 (第 32261 号)

## 5 担当したことのある科目

2019 年 09 月～現在 心理学の基礎 (成蹊大学)

2021 年 04 月～現在 3 年次演習 (東京女子大学)

## 6 学位論文

1. Hamamura, T. (2010). The Role of Perfectionism, GPA Satisfaction, and Acculturation on Depression among International and Domestic Students. Trinity Western University Undergraduate Honor Thesis.

2. Hamamura, T. (2015). Depression and somatic symptoms in Japanese college students: Negative mood regulation expectancies and honne and tatemaie as personality predictors. California State University, Fullerton Master Thesis.
3. 浜村 俊傑 (2019). Examining the Role of Expectancies and the Effect of Computer-delivered Interventions for Problem Drinking (問題飲酒における期待の役割の解明とコンピュータ介入の効果検証) 東京大学大学院教育学研究科総合研究科博士論文 (未公開)

## 7 学術論文 (査読あり)

1. Hamamura, T., & Laird, P.G. (2014). The effect of perfectionism and acculturative stress on levels of depression experienced by East Asian international students. *Journal of Multicultural Counseling Development*, 42, 205-217. doi: 10.1002/j.2161-1912.2014.00055.x
2. Hamamura, T., Suganuma, S., Ueda, M., Mearns, J., & Shimoyama, H. (2018). Standalone effects of a cognitive behavioral intervention using a mobile phone app on psychological distress and alcohol consumption among Japanese workers: Pilot nonrandomized controlled trial. *JMIR Mental Health*, 5(1):e24. doi:10.2196/mental.8984
3. Hamamura, T., Suganuma, S., Takano, A., Matsumoto, T., & Shimoyama, H. (2018). The efficacy of a web-based screening and brief intervention for reducing alcohol consumption among Japanese problem drinkers: Protocol of a single-blind randomized controlled trial. *JMIR Research Protocol*, 7(5):e10650 doi:10.2196/10650
4. Hamamura, T., & Mearns, J. (2019). Depression and somatic symptoms in Japanese and American college students: Negative mood regulation expectancies as a personality correlate. *International Journal of Psychology*, 54, 351-359. doi:10.1002/ijop.12467
5. Hamamura, T., & Mearns, J. (2020). Mood induction changes negative alcohol expectancies among Japanese adults with problematic drinking: Negative mood regulation expectancies moderate the effect. *International Journal of Mental Health and Addiction*, 18, 195-206. doi:10.1007/s11469-018-9991-8

## 8 学術論文 (査読なし)

1. 上田 翠・浜村 俊傑・中村杏奈・下山晴彦 (2017). 衝動性に関する遺伝環境交互作用－動物研究の応用可能性－ 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース紀要, 40, 22-29.
2. 内村 慶士・浜村 俊傑・北原祐理・大賀真伊・鈴木拓朗・小林奈央・下山晴彦 (2018). ACT (アクセプタンス&コミットメントセラピー) を用いたポピュレーションアプローチの可能性—well-being の増進とその予防効果に着目して 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース紀要, 41, 34-41.
3. 高堰 仁美・浜村 俊傑・李智慧・下山晴彦 (2019). 慢性的虐待のリスクを抱え孤立状態にある母親への支援の現状と課題 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース紀要, 42.

## 9 国際学会・シンポジウム等における発表

1. Hamamura, T. (2010, June). *The Role of Perfectionism, GPA Satisfaction, and Acculturation on Depression among International and Domestic Students*. Poster presented at Connecting Mind, an undergraduate research conference in psychology. Richmond, BC, Canada.
2. Hamamura, T. & Laird, P.G., (2013, June). *Impact of Perfectionism and Acculturation on Levels of Depression Experienced by International Students*. Poster presented at International Association for Cross-Cultural Psychology, Los Angeles. (Poster)
3. Hamamura, T., & Mearns, J. (2016, July). *Depression and somatic symptoms in Japanese and American college students: negative mood regulation expectancies as a personality predictor*. The 31st International Congress of Psychology, Yokohama. (Poster)
4. Hamamura, T., Suganuma, S., Takano, A., Matsumoto, T., & Shimoyama, H. (2018, September). *How effective is a brief website intervention with personalized normative feedback among Japanese adults with risky drinking? Findings from a pilot RCT*. In A. Takano & T. Baba (Chair), Possibilities and challenges using e-health and m-health for addiction treatment. Symposium conducted at the meeting of at the 19th Congress of International Society for Biomedical Research on Alcoholism, Kyoto, Japan.

5. Hamamura, T., Mearns, J. (2018, June). *Music mood induction alters negative alcohol expectancies among Japanese adults with problematic drinking: findings from an Internet Experiment*. The 41st Annual Research Society on Alcoholism Scientific Meeting, San Diego, USA.
6. Hamamura, T. (2018, September). *Relationships among expectancies, drinking motivation and problem drinking among Japanese adults: The role of expectancies for negative mood regulation*. Poster presented at the 19th Congress of International Society for Biomedical Research on Alcoholism, Kyoto, Japan.
7. Hamamura, T., Kawai, K., Uchimura, Y., Suganuma, S., Sato, K., & Shimoyama, H. (2019, March). *Does a self-monitoring mobile app help reduction of problem drinking?: A pilot randomized controlled trial among Japanese problem drinkers*. Poster presented at International Congress of Psychological Science, Paris, France.
8. Hamamura, T., Konishi, T., Kurokawa, M., Mishima K., T., Honjo, M. (2020, February). *Development and evaluation of an Android application for appropriate smartphone use among Japanese adolescents*. Poster presented at 2020 Society for Personality and Social Psychology Annual Convention, New Orleans, U.S.

## 10 国内学会・シンポジウム等における発表

1. 浜村 俊傑・中村 杏奈・吉田 成朗・マーンズ, J.・下山 晴彦 (2017). VR 表情フィードバック装置が情動・自伝的記憶に及ぼす影響——ネガティブ気分制御期待感に着目して——日本心理学会第 81 回大会発表論文集, 278. (ポスター)
2. 浜村 俊傑・菅沼 慎一郎・上田 麻実・下山 晴彦 (2017). セルフモニタリングアプリが与える飲酒量・日常ストレスへの効果. 第 39 回日本アルコール関連問題学会, 東京. (ポスター)
3. 浜村 俊傑 (2018). アルコール依存傾向を説明する飲酒量と飲酒期待の役割. 日本心理学会第 82 回大会発表論文集, 880. (ポスター)
4. 浜村 俊傑・本庄 勝・黒川 雅幸・三島 浩路・小西 達也・永田 雅俊・米山 暁夫 (2019). インターネット依存傾向タイプは中高生のスマートフォン利用を予測するか?—質問紙とログデータによる検証—. 日本心理学会第 83 回大会発表論文集. (ポスター)
5. 安 婷婷・浜村 俊傑・岸本 鵬子・マーンズジャック (2019). 中国人留学生における学校ストレスと異文化適応ストレスの抑うつと不安への影響: ネガティブ気分制御期待感の調整効果. 日本心理学会第 83 回大会発表論文集. (ポスター)
6. 浜村 俊傑・本庄 勝・黒川 雅幸・三島 浩路・小西 達也・永田 雅俊・米山 暁夫 (2019). 中高生を対象としたスマホ依存介入アプリの効果検証—ログデータを用いた簡易的ランダム化比較試験—. 2019 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会. 179. (口頭)
7. 三島 浩路・黒川 雅幸・永田 雅俊・小西 達也・浜村 俊傑・本庄 勝・米山 暁夫 (2020 年 3 月). 日常生活に関する主観的評価と個人特性によるスマートフォン依存傾向の違い. 2020 年電子情報通信学会総合大会 41-45.
8. 浜村 俊傑・マーンズ, J. (2020 年 9 月). 飲むなら独りか仲間とか?—高齢者の多量飲酒に着目して—. 日本心理学会第 84 回大会. (ポスター)
9. 黒川 雅幸・三島 浩路・浜村 俊傑・小西 達也・永田 雅俊・本庄 勝・米山 暁夫 (2020 年 9 月). スマートフォン利用によるインターネット依存傾向尺度 (短縮版) の検討. 日本心理学会第 84 回大会. (ポスター)
10. 浜村 俊傑 (2020 年 10 月) スマホ依存の定義とメンタルヘルスとの関連. 浜村 俊傑 (企画代表者) スマートフォン依存の現状と対策を考える: 教育, 医療, 産業の観点から日本心理学会第 84 回大会. (公募シンポジウム, 口頭)
11. 浜村 俊傑・小林 直・本庄 勝・三宅 佑果・千葉 俊周・川島 一朔・酒井 雄希・田中 沙織・米山 暁夫 (2020 年 11 月). スマホ依存は長時間のスマホ利用とどのように異なるのか?—性格指標や生活実態における比較から—— 第 55 回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 (口頭)
12. 小林 直・三宅 佑果・畑川 養幸・浜村 俊傑・本庄 勝・田中 沙織 (2021 年 3 月 10 日). スマートフォン嗜癖の実態把握ならびに検知に関する検討. 2021 年電子情報通信学会総合大会 (口頭)
13. 三宅 佑果・小林 直・畑川 養幸・浜村 俊傑・本庄 勝 (2021 年 3 月 10 日). スマートフォン嗜癖とコーピングの関係に関する一考察. 2021 年電子情報通信学会総合大会 (口頭)
14. 池田 直樹・浜村 俊傑・本庄 勝・米山 暁夫・小林 七彩・中島 涼子・治徳 大介 (2021 年 3 月 10 日). スマートフォン嗜癖診断システム開発に向けた臨床現場でのスマートフォン利用ログ分析. 2021 年電子情報通信学会総合大会 (口頭)

15. 小林 直・三宅 佑果・畑川 養幸・浜村 俊傑・本庄 勝・岡 大樹・千葉 俊周 (2021 年 3 月 15 日). 新型コロナウイルス感染症流行におけるスマートフォンの利用実態ならびにスマートフォン嗜癖の検知. 電子情報通信学会技術研究報, 1-5 (口頭)

## 11 学術雑誌等又は商業誌における解説, 総説

1. 浜村 俊傑. (2019). 文献紹介: Panova & Carbonell (著)「スマートフォン依存は果たして依存症なのか? (Is smartphone addiction really an addiction?)」精神療法, p.602-603
2. 浜村 俊傑. (2020). 書評: 松本俊彦 (著)「物質使用障害の治療」精神療法, p.715

## 12 その他 (アウトリーチ活動等)

1. 浜村 俊傑 (2020 年 9 月 5 日). デジタル機器と子どものネット依存について. サンライズ・クリスチャン・チャーチ
2. 浜村 俊傑 (2021 年 6 月 9 日). 心理学を覗いてみたいあなたへ～学問の紹介とインターネット依存のお話～. 国際基督教大学高等学校マルチイベント

## 13 競争的研究費

- 2016 年 05 月ー2017 年 03 月 東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム題目: VR 表情フィードバック装置が情動・自伝的記憶に及ぼす影響-ネガティブ気分制御期待感に着目して- (研究代表者) ¥ 1,500,000
- 2016 年 05 月ー2017 年 03 月 東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム題目: 心いき東大プロジェクトアプリケーションの効果検討-呼吸法と行動観察に着目して- (研究代表者) ¥ 300,000
- 2017 年 04 月ー2019 年 03 月 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費) 題目: ネガティブな気分回復における期待感の役割: 文化のおよび発達の検討 (研究代表者) ¥ 2,100,000
- 2017 年 05 月ー2018 年 03 月 東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム題目: セルフモニタリングアプリケーション機能の解明と実践場面での応用 (研究代表者) ¥ 300,000
- 2017 年 10 月ー2018 年 03 月 東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム題目: モバイル端末でのフィードバックを活用した多量飲酒低減 ICT 教育プログラムの効果検証 (研究代表者) ¥ 300,000
- 2018 年 07 月ー2019 年 03 月 東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム題目: 問題飲酒を低減するマルチメソッド・アプローチ: 心理学理論の応用に着目して (研究代表者) ¥ 650,000
- 2018 年 07 月ー2019 年 03 月 東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム題目: 精神疾患予防に向けて生体情報を用いたモニタリングシステムの開発 (研究代表者) ¥ 650,000
- 2020 年 04 月ー2021 年 03 月 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (若手研究) 題目: Understanding and Reducing Emotional Difficulties in Gaming Disorder (研究代表者) ¥ 3,200,000
- 2020 年 04 月ー現在 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費) 題目: 思春期における行動依存への支援と関連障害の解明 (研究代表者) ¥ 3,700,000

## 14 査読歴など

International Journal of Mental Health and Addiction (2 本)

## 15 賞罰

2017 年 9 月 日本アルコール関連問題学会 第 6 回小杉好弘記念賞